

1. 単元名：水族館へ行こう！－海辺の生き物図鑑づくり！－

2. 単元概要

水族館への遠足は本学級の定番遠足の一つであった。それを発展させて「海辺の生き物図鑑づくり」をテーマに展開した。期間中の中心となる活動は貝や蟹等の「海辺の生き物」調べや「図鑑」の制作方法であり、関連する活動は(子どもによっては一人で行って帰って来られるつもりで徹底)目的地の情報収集(開館時間、入場料、施設の見所や特徴、施設の広さや構造と観察・体験コーナー、トイレや昼食時間・場所、写真スポット、お土産…等)、目的地までの経路情報(集合場所、目的地の最寄り駅、集合場所から最寄り駅までの移動手段(乗り換えの有無)・経費・所要時間、最寄り駅からの移動手段・所要時間…等)…各教科等が正に合わされて発揮される活動である。あわせて、公共の場で行動するためのマナー学習、加えて「こんなときどうする？例：迷子になつたら…」等、校外の生活場面での様々な困りをシミュレーションする学習へと発展した約一ヶ月間の生活単元学習である。

3. 単元目標

- ①「海辺の生き物図鑑」の完成を目標に、様々な調べ学習や図鑑の製作に意欲的に取り組んでほしい。
- ②みんなで協力して必要な準備に分担して取り組み、充実した楽しい遠足にしてほしい。

4. 単元の日程計画

午前(10時～11時30分)	午後(13時30分～14時15分)
子どもに応じて役割分担しながら、海辺の生き物の生活、水族館とそこまでアクセス、図鑑製作に必要なこと等を徹底して調べる。	①こんなときどうする？－迷子、遅刻、車内でのマナー……等、様々なシーンについて確認し合う ②パソコン等も含めて、子どもの得意を活かして「遠足のしおり」を製作する。
水族館で実際に学んだことも踏まえて、生き物の生活をまとめ、午前・午後を通して学級全体で協力して図鑑づくりに取り組む。	

5. ポイント解説

- ①「先生！そろそろ～をみんなでやる頃だよね！」と子どもから期待の声があがるような鉄板・定番単元がある特別支援学級の取組である。
- ②「鉄板・定番単元」のよさは○「去年は～だったから、今年は～しよう」という子ども主体の展開になりやすい、○「先輩ー新入生の対話的な学び」が活性化しやすい、○教師の立場でも、前年度の反省に基づいて展開するため単元そのものがブラッシュアップされやすい…等がある。
- ③「遠足→図鑑づくり」をテーマに徹底して本物の見栄えのいい図鑑にして校内図書館に寄贈！さらに、その発展として、パワーポイント等を使用して「図鑑」のウリをまとめて、学年集会や全校集会あるいは全校の各学級活動で発表する、保護者向けプレゼン……等も考えられる。
- ④「海辺の生き物クイズ大会」を「図鑑」と隔年企画して、新入生向けのクイズ大会も企画も。
- ⑤複数の家庭で、磯のある海水浴場に家族旅行するケースもあり、毎年、生活の広がりのある単元になっている。